SNC-VB770

リリースノート

Ver.1.3.0

2020/1/24

Sony Corporation

変更履歴

#	リリース日	バージョン	主な変更内容及び、コメント
1	2016/05/27	1.0.0	SNC-VB770 初回リリース
2	2017/03/29	1.1.0	機能追加、変更 不具合修正
3	2018/12/21	1.2.0	機能追加 不具合修正
4	2020/01/24	1.3.0	機能追加 不具合修正

目次

SNC-VB770 0
1. 本リリースバージョンについて 3
1.1 全般について 3
1.2 ソフトウェアバージョンアップ方法について 3
1.3 動作環境について 3
1.4 互換性について 4
2. 新規機能追加 5
2.1. Ver.1.3.0 で追加または変更した機能 5
2.2. Ver.1.2.0 で追加または変更した機能 5
2.3. Ver.1.1.0 で追加または変更した機能 5
3. 改善した問題点 7
3.1. Ver.1.3.0 で改善した問題点 7
3.2. Ver.1.2.0 で改善した問題点 7
3.3. Ver.1.1.0 で改善した問題点 7
4. 機能制限について 8
4.1 ビデオ周波数設定とモニタリフレッシュレート設定 8
4.2 Evidence Shot モード Image1 の Edge Storage 記録について 8
4.3 ActiveX viewer 表示する際の PC 設定について 8
4.4 User/Password のチェック機能について 8
4.5 ピクチャープロファイルの切り替え設定について 8
4.6 表示レイテンシについて 8
4.7 SD OFF スイッチ押下後の Edge Storage 記録について 9
4.8 インテリジェントコーディングについて 9

1. 本リリースバージョンについて

1.1 全般について

本リリースバージョンは 1.3.0 になります

対象モデル: SNC-VB770

1.2 ソフトウェアバージョンアップ方法について

カメラのソフトウェアを本バージョンにバージョンアップするには SNC toolbox V.1.6.1 以降をお使いください。バージョンアップ手順につきましてはアプリケーションガイドをご覧ください

1.3 動作環境について

カメラの映像を見たり、制御したりするコンピューターには、次の動作環境が必要です。

- OS

  Microsoft Windows 7(32bit 版、64 bit 版)

  Microsoft Windows 8.1 (32bit 版、64 bit 版)

  Microsoft Windows 10 (32bit 版、64 bit 版)

  動作検証済みエディション:

  Windows 7 Ultimate、Professional

  Windows 8.1 Pro

  Windows 10 Pro

  Microsoft DirectX 9.0c 以上

- Web ブラウザ

  Microsoft Internet Explorer Ver 11

  Mozilla Firefox Ver.70.0(プラグインフリービューアーのみ対応)

  Google Chrome Ver.78.0 (プラグインフリービューアーのみ対応)

- CPU

  Intel Core i7、3.4 GHz 以上

- メモリー

  8GB 以上

- ディスプレイ

  3840x2160画素以上

- グラフィックボード

  4K/H.264 30fpsのStreamingを表示する場合、以下の動作確認済みのグラフィックボードと同等以上のグラフィックボードをお使いください

  ・動作確認済みグラフィックボード

  - NVIDIA Quadro K620
  - NVIDIA GeForce GTX960

1.4 互換性について

本バージョンは、SNC-VB770 Ver1.0.0 で提供した機能に関して CGI コマンド、RTSP その他のネットワークプロトコル、ストリーミングに関するデータフォーマットにおける変更はありません。外部接続機器との相互接続性に対して SNC-VB770 Ver1.0.0、Ver1.1.0、Ver1.2.0 との互換性があります。

2. 新規機能追加

2.1. Ver.1.3.0 で追加または変更した機能

- セキュリティを強化しました
- カメラの初回アクセス時に、管理者のパスワード変更が必要になりました。
  管理者のユーザー名とパスワードの初期値は下記になります。
  ユーザー名：admin
  パスワード：Admin_1234
  ユーザー名は 5 ～ 16 文字、パスワードは 8 ～ 28 文字で設定してください。ユーザー名、パスワードは、「,（カンマ）」、「＃」、「＆」、「：」、「（スペース）」を除く英数字を使用してください。パスワードは、英字、数字の両方を使用してください。
  【注意】バージョンアップを実施するユーザーへの注意事項
  - Ver 1.3.0 へバージョンアップを実施する前に、管理者とユーザーのユーザー名、パスワードを上記仕様で設定してください。
  - もし、上記仕様で設定を行わず Ver 1.3.0 へバージョンアップを行った場合、管理者とユーザーのユーザー名とパスワードは全て初期化されます。
- 工場出荷設定を行う時に、「ネットワーク設定を保持する」の項目にチェックをすると、ネットワーク設定に加えて管理者のユーザー名とパスワードも保持されます。

2.2. Ver.1.2.0 で追加または変更した機能

- セキュリティを強化しました
- TLS 1.2 に対応しました
- カメラ妨害検知の自動クリア機能に対応しました

2.3. Ver.1.1.0 で追加または変更した機能

- セキュリティを強化しました
  【ご注意】ActiveX のインストールに失敗する場合は、最新の Windows セキュリティパッチを当ててください
- Easy Focus 機能にオープンアイリスのチェックボックスを追加しました。明るさが時間帯で変化する環境で使用する場合にフォーカスのズレの発生を軽減します。
- 装着するレンズの省電力動作機能に対応しました。
- 下記レンズについて、ファームウェアでのサポート追加を行いました。
  - SEL50F14Z
  - SEL50F18F
  - SEL50M28
  - SEL85F14GM
  - SEL2470GM

- SEL70200GM
- SEL70300G
- SEL14TC
- SEL20TC

3. 改善した問題点

3.1. Ver.1.3.0 で改善した問題点

- 4K ストリーミング再生時に時刻設定（NTP 同期を含む）が行われると、映像が乱れる場合がある問題がありましたので、修正しました。
  （Ver.1.1.0 の問題点、Ver.1.3.0 にて対策）
- ビューアー認証を有効にして RTSP ストリーミング再生を行うと、途中で切断されてしまう問題がありましたので、修正しました。
  （Ver.1.0.0 の問題点、Ver.1.3.0 にて対策）
- RTSP ストリーミング再生時、セッションが途中で切断される場合がまれに発生する問題がありましたので、修正しました。
  （Ver.1.0.0 の問題点、Ver.1.3.0 にて対策）
- SNCtoolbox から、カメラのポート番号を変更できない場合がある問題がありましたので、修正しました。
  （Ver.1.0.0 の問題点、Ver.1.3.0 にて対策）

3.2. Ver.1.2.0 で改善した問題点

- パケットロスが頻発する環境において RTSP マルチキャストストリーミングを使用すると、カメラが再起動することがある問題がありましたので、修正しました。
- エビデンスショット使用時に、水平画角が仕様と異なる場合があったため、修正しました。

3.3. Ver.1.1.0 で改善した問題点

- ビデオ／オーディオメニューのビデオコーデックタブにおいて、画像サイズが 4K の場合、H.264 プロファイルの選択肢に Main が表示される問題がありましたので、修正しました。

4. 機能制限について

4.1 ビデオ周波数設定とモニタリフレッシュレート設定

ActiveX viewer では 4K の Streaming 画像をなめらかに表示するために Direct2D を使用しています。そのため画像を滑らかに表示するため、ビデオ周波数と PC モニタのリフレッシュレートの周波数を合わせてお使いください。（ビデオ周波数 60[Hz]、50[Hz]の設定に合わせて、それぞれ PC モニタのリフレッシュレートを 60[Hz]、50[Hz]に合わせる必要があります）

4.2 Evidence Shot モード Image1 の Edge Storage 記録について

Evidence Shot モード Image1（Motion JPEG）の記録ビットレートは被写体によって Edge Storage の保証レート（8Mbps）を超えることがあります。設定する際にはご注意ください。

4.3 ActiveX viewer 表示する際の PC 設定について

PC のディスプレイ設定を拡大設定（例、125%、150%など）にしていると、ActiveX viewer のライブ画面の一部が表示されないことがあります。画像をすべて表示させるためには PC のディスプレイ設定を 100%にしてください

【PC のディスプレイ設定方法】

① コントロールパネルを開き、すべてのコントロールパネル項目を表示する
② コントロールパネル項目からディスプレイを選択してクリックする
③ ディスプレイ設定の 100%をチェックして適用を押す

デフォルトは 100%になっていますので通常は設定の必要はありませんが、100%以外の設定にしている場合に上の手順で再設定してください

4.4 User/Password のチェック機能について

“&”を User、Password に入力すると”不正なパラメータです”と警告を表示しますが、その他の禁止文字列（”,”（カンマ）、“#”(シャープ)、” “(スペース)”、”:”(コロン)）を入力しても警告表示がでませんのでご注意ください。

4.5 ピクチャープロファイルの切り替え設定について

「イベント発生時の設定」のスケジュール設定は、次のイベント発生の条件が発生した場合に有効になります。例えば、イベント発生の条件になる期間中にイベント発生時の設定をしても即時に設定が反映されず、次に条件と合致したときに設定が反映されます

4.6 表示レイテンシについて

ActiveX viewer で FHD 以下の Streaming を表示させる場合、ハードウェアアクセラレーションを無効にすると表示のレイテンシが短縮できます。（4K の Streaming 表示に対してハードウェア

アクセラレーションの処理が有効になりますので FHD 以下のサイズに対してハードウェアアクセラレーションを無効にして画質に対する影響はありません）

4.7 SD OFF スイッチ押下後の Edge Storage 記録について

Edge Storage 動画の録画開始ボタンを ON、あるいはスケジュールタブ/EdgeStorage タブ/EdgeStorage 動画-「常時」のチェックボックスを ON にして Edge Storage 記録中に SD OFF スイッチを押下後、SD カードを再挿入し Edge Storage 記録を行う場合には録画開始設定を再度行ってください。

4.8 インテリジェントコーディングについて

動体追尾設定は4つまでとなります。動体が多いことが予想される場合や動体の移動速度が速い場合には固定領域設定の併用をお勧めします。